

さめうら
「早明浦ダム再生事業」の予算政府案の決定について
～水資源機構における初のダム再生事業～

本日、平成30年度予算政府案が閣議決定され、早明浦ダム再生事業の事業費は3億円とされました。

本事業は、独立行政法人水資源機構が実施する初のダム再生事業です。

また、既設ダムを有効活用するダム再生の取組をより一層推進するための方策を示す「ダム再生ビジョン」（平成29年6月 国土交通省 水管理・国土保全局）策定後、全国で初の新規ダム再生事業として予算政府案に計上された事業の一つです。

【事業の目的】

ダム貯水池の容量振替や予備放流方式の導入により洪水調節容量を増大させるとともに、放流設備の増設等により治水機能の向上を図るものです。

早明浦ダムは、吉野川の治水と四国4県の利水を目的に建設され、吉野川総合開発の中核となる多目的ダムであり、水資源機構が管理する「四国のいのち」とも呼ばれる四国最大のダムです。

（参考）

○国土交通省水管理・保全局関係 平成30年度予算（国土交通省ウェブサイト）
http://www.mlit.go.jp/river/basic_info/yosan/gaiyou/yosan/h30.html

○早明浦ダム再生事業 新規事業採択時評価 説明資料（国土交通省ウェブサイト）
http://www.mlit.go.jp/river/shinngikai_blog/shaseishin/kasenbunkakai/shouinkai/r-jigyouhyouka/dai09kai/pdf/04_shiryou.pdf

○ダム再生ビジョンの策定（国土交通省ウェブサイト）
http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo05_hh_000029.html

平成29年12月22日



独立行政法人 水資源機構

発表記者クラブ

国土交通記者会
水資源記者クラブ
高松経済記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 総務部広報課 かわい いしやま 河合、石山
住所：埼玉県さいたま市中央区新都心11-2
電話：048(600)6513

早明浦ダム再生事業の概要

事業箇所 高知県ながおか長岡郡本山町（左岸）、同県土佐郡土佐町（右岸）

目 的

○洪水調節 容量振替及び予備放流方式の導入により、現況の洪水調節容量を9,000万 m^3 から10,700万 m^3 に増大させるとともに、洪水時の放流能力増強のため、放流設備の増設等を行うことにより、治水機能の向上を図る。

※容量振替は、現状の利水安全度を確保しつつ、不特定補給の運用を見直すことにより容量を確保することをいう。

※予備放流方式は、洪水が予想された時点で、あらかじめ放流を行うことで貯水位を下げ、洪水調節容量を洪水調節計画において確保することをいう。

諸 元

形式 : 重力式コンクリートダム
ダム高 : 106m
堤頂長 : 400m
総貯水容量 : 31,600万 m^3
有効貯水容量 : 28,900万 m^3
集水面積 : 472 km^2
(あせみ汗見川取水55 km^2 含む)

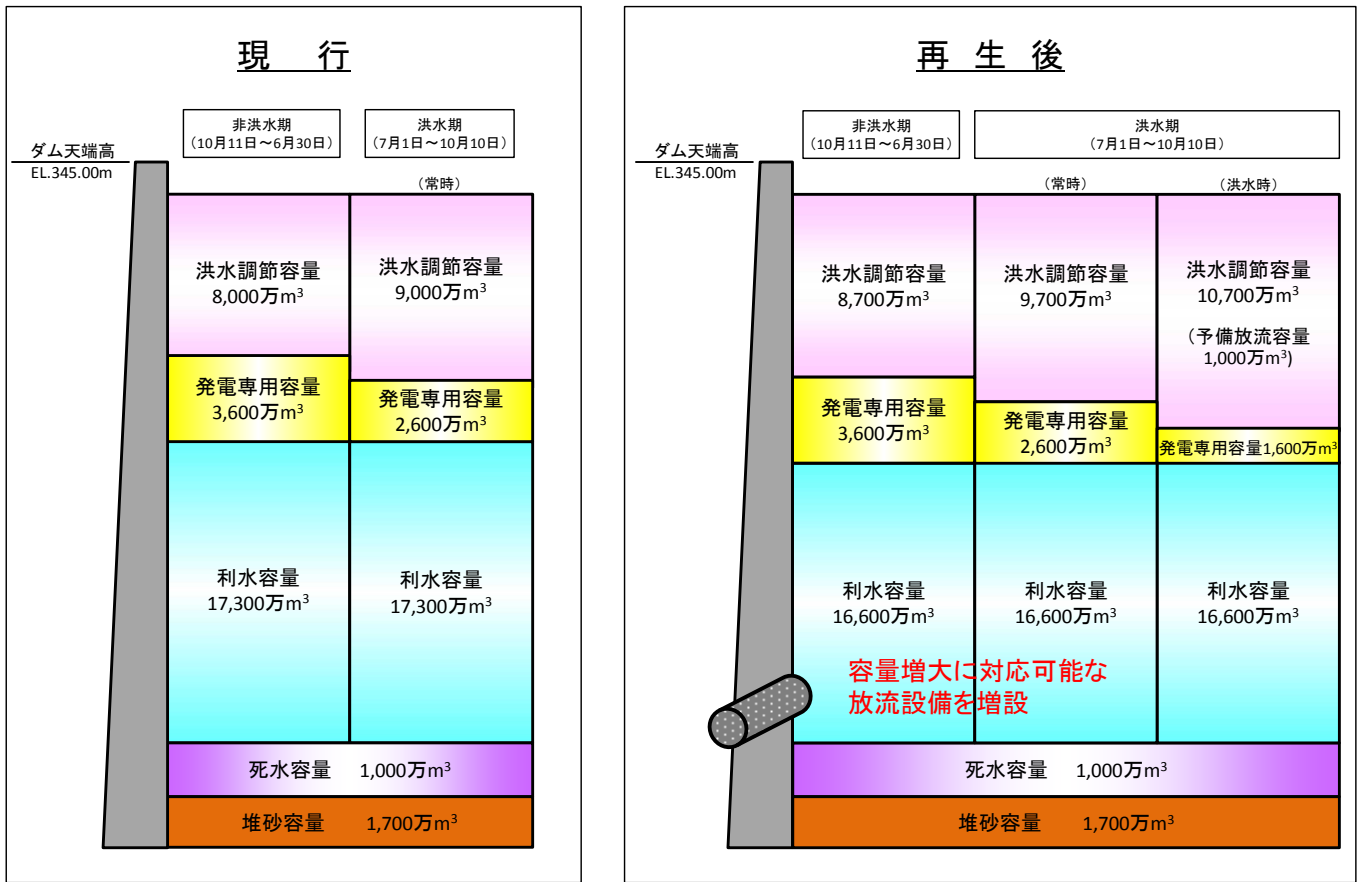
総事業費 約400億円

平成30年度予算政府案 3億円

位置図



貯水池容量配分図



放流設備増設イメージ

